

平成 17 年度当初予算 重点プログラム別概要

元気 2 : 中高年者雇用・安定プログラム

(主担当部局 : 生活部)

- (1) 短期職場実践訓練事業
- (2) キャリアカウンセリング事業
- (3) 求職者資格取得サポート事業
- (4) 地域雇用対策推進サポート事業
- (5) ライフ・ワークサポート三重推進事業

< プログラムの事業費 >

(単位 : 千円)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	3 か年計
当初計画	216,846	209,000	209,000	635,000 程度
見直し後	172,023	109,658	109,800	391,481

注 : 見直し後の 16 年度は現計予算額、17 年度は予算要求額、18 年度は同見込額

< 事業目標の見込み >

目標項目		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
(1) 訓練受講者数の就職率	目標値	75 %	78 %	80 %
	実績値	70 %		
(2) 受講者の就職率	目標値	40 %	45 %	50 %
	実績値	40 %		
(3) 資格取得者の就職率	目標値	60 %	70 %	75 %
	実績値	50 %		
(4) 各地域単位で実施する事業数 (累計)	目標値	10 事業	12 事業	15 事業
	実績値	10 事業		
(5) 啓発・研修への参加事業所数	目標値	1,000 事業所	1,000 事業所	1,000 事業所
	実績値	1,000 事業所		

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・全国的に失業率は、依然として 4 % 台の高い水準にある中、本県においては、有効求人倍率が 1 倍台で推移するなど、雇用情勢は全体として改善傾向にあります。
- ・しかしながら、未だに求人・求職のミスマッチが生じており、さらに、県内北部地域では、業種や職種によっては労働力が不足している一方で、南部地域では雇用機会が不足しているといった地域間の格差も広がってきていることから、引き続き、こうした課題に対応した取組の推進が重要となっています。
- ・本プログラムの事業により、中高年求職者に対して、短期的な職場実践訓練、キャリアカウンセリング、就職に有利な資格等の所得支援などを進め、再就職の促進に一定の効果을あげてきていますが、県の南部地域における一層の雇用支援が大きな課題と

なっています。

<平成 17 年度の取組方向>

- ・中高年者の円滑な再就職の支援、就労者の雇用に係る不安の解消を図るため、高い就職率を確保している短期的な職場実践訓練の推進など、求職者が、これまで就いていた仕事にとらわれずに新たな職業にチャレンジできる機会づくりを引き続き進めます。
- ・さらに、各地域の実情に応じた効果的な雇用対策事業を地域の関係機関・団体等との協働により構築・推進していくとともに、きめ細かな労働・生活相談や、就労者の立場に立った雇用環境づくりの促進などに引き続き取り組みます。

<主な予算要求事業>

短期職場実践訓練事業【17 年度事業費 20,130 千円】

雇用保険失業給付を受給していない失業者が、従業員を募集中の県内企業等において短期間に実際の仕事の訓練を受けることにより早期に就職できるよう支援を行います。

地域雇用対策推進サポート事業【17 年度事業費 15,976 千円】

県を北部、中部、南部に分け、それぞれの地域において、市町村、関係機関・団体等との連携による地域の課題・実情に応じた雇用対策を展開する体制を中心に、効果的な取組を構築・推進します。

ライフ・ワークサポート三重推進事業【17 年度事業費 19,130 千円】

就労者の立場に立った雇用環境づくりのため、事業者等を対象とした啓発・研修の推進及び企業診断（労使コミュニケーション診断）の企業における実施促進とともに、県の労働・生活相談窓口「ライフ・ワークサポート三重」について、機能の充実を図りながら運営します。